

第3章 主要指標の見通し

(1) 国の推計人口を上回る国勢調査人口

平成15年12月に示された「日本の市区町村別将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所）によると、わが国の人口は将来的には減少していくと予測されていますが、新市においては、建部町では減少傾向にあるものの岡山市、瀬戸町では増加し、当面は増加傾向で推移すると推計されています。

この推計では、新市の平成17年人口は684,448人（以下この章において「17推計値」という。）と推計されていましたが、平成17年国勢調査結果速報では、1市2町の合計人口は696,026人（以下この章において「17国調速報値」という。）となっており、17推計値に対し、11,578人、約1.7%上回っています。

これは、岡山県の県都としての中枢管理機能や高等教育機関等の集積を背景に、人口の社会増が反映したものと考えられ、この傾向は、新市においても継続するものと推測されます。

平成17年国勢調査結果速報から (単位：人)

岡山市	建部町	瀬戸町	新市計
674,605	6,521	14,900	696,026

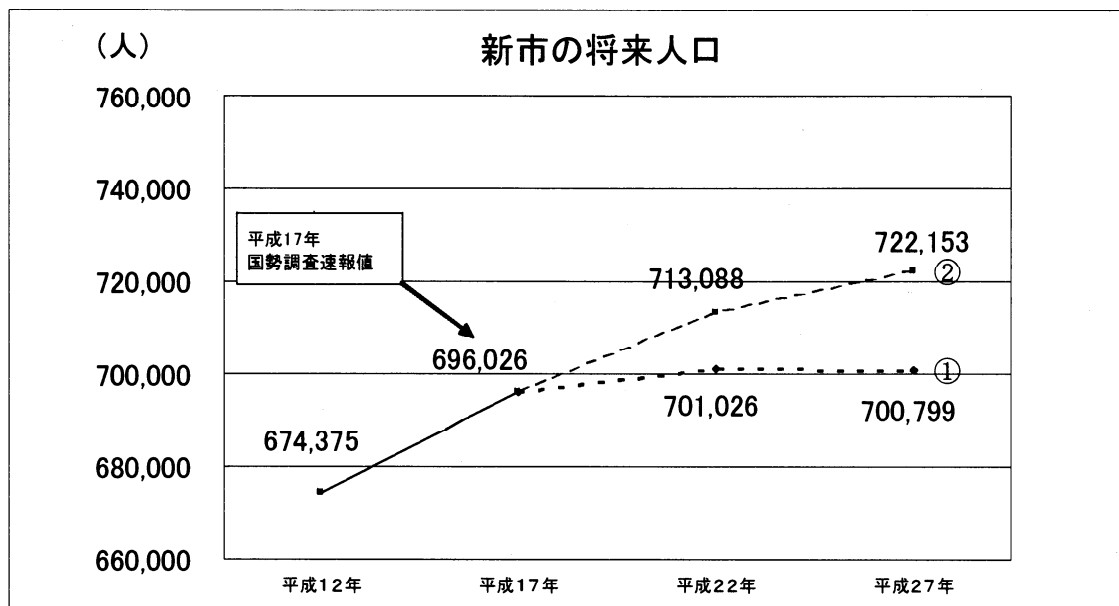
[参考] 「日本の市区町村別将来推計人口」からみた新市の推計人口

(国立社会保障・人口問題研究所、平成15年12月推計資料)

区 分		平成17年	平成22年	平成27年
各 市 町	岡山市	662,786	667,907	668,054
	建部町	6,629	6,243	5,839
	瀬戸町	15,033	15,215	15,249
新市計		684,448	689,365	689,142
伸び率(%)			100.7	99.9

(2) 新市の人口は70万人を超える見込み

17国調速報値に基づいて新市の将来人口を独自に推計すると、平成19年～平成21年に政令指定都市の人口の目安とされる70万人を超えると見込まれます。



① 17国調速報値及び国の推計からみた将来人口 (点線)

17国調速報値を基礎に「日本の市区町村別将来推計人口」(国立社会保障・人口問題研究所、平成15年12月推計資料)における伸び率を用いて推計

平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
696,026	697,026	698,026	699,026	700,026	701,026	700,981	700,935	700,890	700,844	700,799

② 17国調速報値及び国の推計システムからみた将来人口 (破線)

17国調速報値及び平成17年12月末時点での1市2町の住民基本台帳人口の年齢階層別割合を基礎とし、国立社会保障・人口問題研究所の小地域簡易将来推計人口システムを用いて推計

平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
696,026	699,438	702,851	706,263	709,676	713,088	714,901	716,714	718,527	720,340	722,153